

- 1 単元名 二年一組、わくわく！へんしんカードを作ろう
教材名「虫は道具をもっている」（東京書籍 2年下）

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「二年一組、わくわく！へんしんカードを作る」ことを位置付けた。「わくわく！へんしんカード」とは、読み取ったことをもとに変身したい虫の体の仕組みと働きについて絵と文で分かり易くまとめて、1年生に紹介するためのカードである。1年生が喜んで見てくれる楽しいカードを作成するためには、文章の内容と自分の考えとを結び付けて、「どんな虫」「どんな道具」で「どんなこと」をしたいのかを書くことが求められる。そのために、教材文の内容を正しく読み取り、自分の考えを加えて分かり易く再構成することが必要となってくる。児童は、1年生に読んでもらうために「二年一組、わくわく！へんしんカード」を作成することを通して、本単元のねらいとする「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」（C読むことイ）、「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」（C読むことエ）、「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」（B書くことイ）を身に付けていくであろう。目的意識や相手意識も明確であり、ねらいを実現するのにふさわしい言語活動であると考えられる。

3 単元について

(1) 児童観（在籍*人）

<実態調査>*月*日実施 市標準学力調査問題3年「説明的文章を読むこと」より

文種	項 目		正答	誤答	無答
説明文	1 事柄の順序を読み取る。	選択式	*人	*人	*人
	2 書かれていることのわけを読み取る。	〃	*人	*人	*人
	3 何について書かれているかを読み取る。	〃	*人	*人	*人
メモ・ 絵日記	4 与えられた情報を読み取って例にならって文を書く。	記述式	*人	*人	*人
	5 与えられた情報を正しく読み取る。	選択式	*人	*人	*人

本学級の児童は、2年1学期に「たんぼぼ」の教材文を使って、事柄の順序や書かれている内容の大体を読み取る学習を行った。既習教材の事柄の順序や内容の大体は読み取れるが、わけを読み取ったり、文中の大事な言葉を使って自分の考えをまとめたりすることには抵抗がある児童が多かった。9月に実施したテントウムシについて書かれた説明文を読み取る調査においても同様で、特に「与えられた情報を読み取って例にならって文を書く」ことの正答率が非常に低かった。本単元では、大事な言葉に着目して情報を正しく読み取ることと、それをもとに、自分の考えを加えて楽しみながら再構築する力を育てていきたい。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領（C読むこと）の第1学年及び第2学年の指導事項イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」、エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」及び（B書くこと）の指導事項イ「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」に重点を置くこととする。

教科書教材「虫は道具をもっている」は、虫の体の仕組みと働きについて、人間の生活や願いと関連付けながら説明されている。人間の道具と虫の体の仕組みと働きとの類似点や相違点を述べた文章を読み取ることを通して、多面的なものの見方を身に付けさせるのに適した教材であると考えられる。また、教材文をもとに虫の体を使って自分がしたいことを考えさせる活動を通して、豊かな想像力や柔軟な感性を養うことも可能であると考えられる。本学級の児童が、読み取ったことと自分の経験とを関連付けて考えたことを1年生に紹介する活動に発展させるために十分活用できると考える。

(3) 指導観

導入にあたっては、自分たちも1年生の時に生活科で虫と遊んだ体験を想起させ、楽しいカードを作って1年生に紹介しようと呼びかける。児童に相手意識と目的意識をもたせることで、興味をもって学習に取り組むことができるように配慮して、第一次の計画につなげる。

第二次では、教材文の大事な言葉や文を見つけて、虫の体の仕組みと働きについて人間の道具と比較しながら、書かれていることを正しく読み取ることができるようにする。そして、読み取ったことをもとに虫の生き方について考えを深められるようにする。

第三次では、「二年一組、わくわく！へんしんカード」を作るために好きな虫を選び、どんな道具を借りたいか考えて、自分がやりたいことを絵と文や吹き出しでまとめる活動を進める。その際、第二次で考えたことを生かして学習を進められるように配慮する。

さらに、単元の最後には、学級活動の時間を活用して、1年生に紹介する活動を行う。充実感と満足感をもって読むことの学習を終了できるように、一人一人に配慮したい。

4 単元の目標

- 科学的な文章に興味をもって読んだり，紹介カードを進んで書いたりしようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読み取ったり，大事な言葉や文を見付けて，書き抜いたりすることができる。
(読むことイエ)
- 自分の考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
(書くことイ)
- 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識 ・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 虫の体の仕組みや働き，生き方について書かれた文章に興味をもって読んだり，自分の好きな虫を選んで1年生に紹介するカードを進んで書いたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材文に書かれている虫の体のつくりや働き，生き方について正しく読み取っている。 ・ 虫が，体のどの部分でどんなことをし，それがどんな道具に似ているかについて書かれた文や言葉を見付けて，書き抜いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が紹介したい虫の体の仕組みや働きについて，絵と文や吹き出しを使い，分かり易い構成を考えながら書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 虫について書かれた文章の学習を通して，主語と述語の関係に注意しながら，文章を読んだり，紹介文を書いたりしている。

6 単元の指導と評価の計画（13時間扱い）本時は11時間目

- 第一次 「二年一組、わくわく！へんしんカード」を作ろうという目的をもち，単元の学習計画を立てる。・・・3時間
- 第二次 教材文「虫は道具をもっている」を読み，虫の体の仕組みや働きについて書かれている部分を見つけ，人間がもっている道具と比較して読み取り，虫たちの生き方について考える。・・・5時間
- 第三次 虫の道具を借りてやってみたいことを「二年一組、わくわく！へんしんカード」にまとめて，1年生に紹介する準備を進める。・・・5時間

時	主な学習活動	主な評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材文の読み取りをもとに，好きな虫を選ぶ。 (好きな資料を選んで読んでもよい。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の好きな虫を選び，進んで1年生に紹介しようとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分は，虫の体のどの部分でどんなことをやりたいか考えて，メモや絵にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 虫の体の仕組みや働きについて，1年生に分かり易い構成を考えながら，メモや絵にまとめている。 (書く能力)
③ 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時にまとめたメモや絵をもとに，文や吹き出しを使って，紹介したいことを「二年一組、わくわく！へんしんカード」に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介したい虫の体の仕組みや働きについて，自分の考えを加えながら，例にならって文や吹き出しに書いている。 (書く能力)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでカードを読み合い，感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のカードを読んで，よいところや直したいところ，感じたことなどを伝えている。 (書く能力)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「二年一組、わくわく！へんしんカード」の修正と仕上げをする。 ・ 単元を振り返り，学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主語と述語の関係に注意しながら紹介文を読んだり書いている。 (言語についての知識・理解・技能)
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 「二年一組、わくわく！へんしんカード」を1年生に紹介する。 ・ 1年生に紹介する活動を通して，学習の成果を発表したり，感想を聞いたりして楽しく交流する。 	

7 本時の学習


(1) 目標

紹介したい虫についてまとめたメモや絵をもとに、「借りたい虫の道具」「借りたい理由」「道具を使ってしたいこと」を例にならって文に書いたり、自分や虫の言葉を吹き出しに書いたりすることができる。

(2) 準備・資料

前時に書いたメモと絵 カードの台紙 カードの文例 読み合いコーナー 時計の模型
実物投影機 スクリーン

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「二年一組、わくわく！へんしんカード」 ○ メモをもとに、文とふき出しをへんしんカードに書こう。</p> </div> <p>2 学習の進め方を確認する。</p> <p><約束を確認する。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな虫のどんな道具をかりたいのかを書こう。 ・なぜかりたいのか、わけも書こう。 ・どんなことをしたいのかをくわしく書こう。 ・自分が思ったことや虫が教えてくれたことも吹き出しに書こう。 <p>3 カードに文と吹き出しを書く。</p> <p><予想される記入例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>「二年一組、わくわく！へんしんカード」 わたしは、トンボのはねをかりたいです。 すきなところにとんでいけたら、おもしろいからです。 学校やこうえんの上をぐるぐる回ってとんでみたいですよ。</p> </div> <p><教科書教材から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメンボ ・トンボ ・カマキリ ・ハチ ・チョウ ・ケラ <p><教材文以外の資料から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カブトムシ ・クワガタ ・スズムシ ・ホタル ・バッタ ・ハサミムシ <p>4 書いた文を読み合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・～虫の～で、こんなことができるなんて、おもしろいな。ぼくも、やってみたいな。</p> <p>・○○さんのふき出しの～は、～と書いた方がよく分かるよ。</p> </div> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・虫にへんしんして、文やふき出しを書いたことが、楽しかったです。</p> <p>・早く1年生に見せたいなと思いました。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間を確保するために、前時の終わりにノートに書いた課題を音読し、確認できるようにする。 ・本時は、自分たちも1年生もわくわくするような楽しいカードを作るための大切な時間であることを知らせ、児童の学習意欲を高める。 ・前時に書いたメモをもとにして、文や吹き出しの書き方の例を示す。 ・基本的には、「何を借りたいか」「なぜ借りたいか」「それを使って何をしたいか」の三文で構成できるようにする。 ・吹き出しには、思ったことや虫が教えてくれたことを簡単に書くことで、二次で読み取ったことを生かすことができるようにする。 ・支援を要する児童にも理解し易いように、問いかけながら、モデル文の吹き出しに実際に記入してみる。 ・活動時間の目安となる時計の模型を掲示する。 ・本時は、説明文から読み取った仕組みや働きを使って、虫になってやってみたいことを考え、文や吹き出しに書く活動が中心となる。 ・書くことで、読み取ったことを確かめたり、自分の考えを加えて、楽しみながら再構成できるようにする。 ・事前の実態調査から、例にならって自力で書くことが困難な児童が多いことが予想されるので、机間指導しながら個別に助言する。 ・自力でうまくまとめられない児童には、前時のメモや絵を見て問いかけ、何を書きたいのかを確認してから、文や吹き出しの記入例を示すことで、自信をもって書けるように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>⑨ 紹介したい虫の体の仕組みや働きについて、自分の考えを加えながら、例にならって文や吹き出しに書いている。(カード、観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・早く書き終わった児童は、「読み合いコーナー」で友達同士で読み合い、感じたことを交流できるようにする。 ・おすすめの作品があれば、スクリーンに投影して全体で読み合わせるように、場の設定をしておく。 ・本時の学習で分かったことや考えたことをノートに書いて振り返りとする。 ・本時の頑張りを十分認め、満足感をもって終了できるように配慮する。 ・次時は、カードに書いたことをグループで紹介し合い、付け加えたいところや直したいところを考えることを伝える。